

# 岡山県高P連 会報

発行：岡山県高等学校PTA連合会

事務局：〒700-0824岡山市北区内山下1-14-19 / TEL：086-234-1640 / FAX：086-234-1835

URL：http://www.okayama-koupren.ne.jp / E-mail：okayama-koupren@ybb.co.jp

## 第60号

### 『創造性を養う』

岡山県高等学校PTA連合会会長  
岡山地区連合会会長

武田 浩一



平素より皆様方にはPTA活動に多大なるご協力を頂戴し心より感謝申し上げます。さて、昨今のグローバル化が進む変化の激しい時代を生き抜いていくために何が必要かと考えてみました。私なりの答えは、遙か昔、多感だった私の高校時代にテレビを通じて知った一つの言葉の中にあります。それは、世界的な数学者であり東北大学の学長もされた広中平祐先生が言われた「創造性のある人生こそ最高の人生である」という言葉です。グローバル化が進み、様々な情報や文化や人が交錯する世界に生きる若い人々には常に多様性への適応能力が求められます。その中で求められる人材像とは、変化に適応する人々の伝統的な知的財産である学問や文化や科学、芸術などをベースとして発展的に

次代につなげる創造力豊かな人格であると思います。これからの時代を生き抜いていくためには、豊かな創造性が必須なのです。そのような創造性、あるいは夢といったものを実現する力をいかに養うか。特に高校時代に大きく育てておいて欲しいものは、夢や創造性を高める「志」です。高校時代とは、いろいろな人や書物との出会いや、スポーツや芸術活動に熱中する自由な空気の中で、一人一人が自身の未来について無限の可能性を感じることできる大切な時間であると思えます。何も定まっていらない茫洋たる時間こそ、「志」を育てる土壌であると思えます。情報機器が発達し、利便性と効率性が優位を占める時代であるからこそ大切に思うこととは、人は人との *meeting* の出会いによって磨かれ成長するということ。また、創造性や生きるエネルギーといったものは、友人との遊びや会話や、特に我々親には、一見非効率で無為に思われるほんやりした時間の中でこそ育まれるものと思えます。高校生活とは本来そんな時間に満ちているもののように思えます。

ここ岡山で高校時代を過ごすことの価値は、「浩然の氣」を養うことにあるのではないかと思います。「浩然の氣」とは、備中松山藩の偉大な藩政改革者であり教育者である山田方谷の言葉で、天地の間に満ちているこの上もなく大きくて強い気のことだそうです。人との *meeting* の出合いを重ねながら、ゆつくりと「浩然の氣」を養うこと。世界各地で活躍される多くの人材を育んだ岡山で貴重な高校時代を過ごす子供たちに、是非とも経験し感じてもらいたいことなのです。そして最後に、私たち大人にできることは、子供たちが「志」を自発的に育む「時間」を持つことを大切に見守ってやることであると考えます。そのことは、実社会に生きる大人にとっては受け入れがたいことかもしれませんが、子供たちがこれからの時代を、創造性を持ってたくましく生きていくために、今親が出来る大切な協力であると私は考えます。

今年の夏の猛暑の中、いや猛暑というよりは歴史的酷暑と言える程の暑さの中、この原稿を書いている今まさに、全国高校野球選手権大会が甲子園球場で開催されています。高校球児たちの、清々しく、真つ直ぐで、最後まで諦めない、一生懸命さは、いつの時代も我々を勇気づけてくれます。そして勝者も敗者も試合終了とともに人目も気にせず、ただただ純粹な心から溢れ出る涙は、大人の我々が日々の生活で忘れ置きさつてしまっている素の心を驚掴みにされるくらいの感動を覚えます。

毎年毎年、夏のこの時期には一野球ファンとして高校野球を通じて様々な「ドラマ」に心を揺さぶられ、「勇気」を頂いております。が最近、正確に言えば、私が高校PTA活動に参加させて頂いた3年前から徐々に、一野球ファンとしてではなく、一親の立場から、また一地域の大人としての立場から、「高校野球」を感じるようになった自分があります。それぞれの出場校の様々なエピソード・様々な物語・様々な取り組みに以前より興味を湧いてきたのです。これは自然の流れなのかもしれません。大袈裟かもしれませんが、PTA活動に参加させていただくことにより、これからの日本の将来を支えていく若者達を一人の立場から見守っていくことへの機会を頂くことができたことをとても嬉しく思っております。と同時にこれから先も微力ではありますが、若者たちの活動を一応援団として支えていくPTA活動を続けていきたいと改めて感じております。

### 「高校野球を通じて」

旭東地区連合会会長 青山 浩司

### 「肯定する」から始める

備南地区連合会会長 松井 克爾

岡山県立倉敷鷺羽高等学校PTA会長として4年目を迎えました。本年度は備南地区連合会会長並びに岡山県高等学校PTA連合会副会長も務めさせて頂いております。皆様方のご支援に心より感謝申し上げます。私自身は中学卒業後に鹿児島の高校へ進学したため、今になって地元岡山で各校の皆様と交流できるのがとても楽しみです。しかしそんな学力テストの成績が全国上位であることが重要でしょうか。成績が上がっ

た下がったで一喜一憂するより、その結果を導いた課程をまず肯定する事により、次にはもつと良い結果がうまれるのではないのでしょうか。

私は、「昨年よりアップした」その事こそが教育現場や子供達が成長している証ではないかと思えます。何事も一歩一歩が肝心です。その一歩をまずは肯定することこそが重要だと考えます。確かに学力は大切でしょうが、それ以上にきちんと挨拶ができた、困っている人がいれば優しく手をさしのべられる、そして一人を地域を愛する子供達に溢れた岡山県ですよ。」と言った人間形成の根本を全面に押し出すと言うのはだめなのではないでしょうか。

### 「ピンチはチャンス」

倉敷地区連合会会長 鮫 嶋 暢 子

一昨年、倉敷青陵高校の理事を引き受けたことから、今年は会長をすることになってしまいました。倉敷青陵高校は今年度、倉敷地区PTA連合会の会長校と県の監事に当たる当番校であるという事を後に知り、恐ろしい不安と後悔に襲われたの思い出します。

元々人前に立つのが苦手、PTAの会長としてPTA総会で挨拶するだけでも精一杯なのに校内だけでなく、校外の他校の先生やPTAの方と顔を合わせる機会もあり、本当に苦難の日々でした。PTAの代表だからとポロを出さないよう常に細心の注意を払っているうち、い

りました。この経験から、「どんな苦境もピンチはチャンス、逆に楽しみました。」

### 「矢掛高等学校の原風景」

備西地区連合会会長 稲 田 欽 也

本年度から、県立矢掛高等学校のPTA会長を務めさせていただきます。同時に県高等学校PTA連合会備西地区会長と県高等学校PTA連合会副会長という役を仰せつかる節目の年でありました。そして、矢掛高校は30年前、私が卒業しました母校であります。まさか、こうした形で母校を訪れる日が来るとは夢にも思いませんでした。

矢掛高校は明治34年に設置され、今年で創立112年の大変古い、いや伝統のある高等学校です。校舎などはさすがに鉄筋コンクリートですが、敷地の周りにお城のように堀がめぐり、「間知石積み」の石垣で囲

### 「子供たちに希望を伝えたい」

備北地区連合会会長 梶 並 正 和

最近、「希望学」という本を読みました。希望学とは、個人の内面の問題とみなされてきた希望を、社会にかかわる問題として考えたもので、東大の玄田教授を中心として、法学、政治学、経済学、社会学などの社会科学と呼ばれる学問を総動員して研究したユニークな考え方です。

村上龍氏の『希望の国のエクソダス』の有名なフレーズに「こ

い人、子どもでは勉強やスポーツができる人と書いてありました。これでは多くの大人や子どもたちが「私は希望が持てない」と嘆いてしまうところですが、唯一「人生には全てに意味がある」と思っ毎日生きている人は「大きな希望を持てる人」と結論付けられており、私自身ほっとしました。

東北大震災において多くの方が被災され、子どもたちも一時的に夢や希望を失いました。しかし、それを払拭するため多くの被災地の大人たちが立ち上がり、現実を受け止め、20年後、30年後の地域の未来を子供達に語り、託したことで、子どもたちの希望が蘇ったと新聞記事に書いてありました。つまり子供たちへの関わり方、伝え方次第で、子供達の希望はいくらでも大きく広がるといことなのです。

### 「PTA活動の中で保護者としての力をみぎを育てたい」

美作地区連合会会長 岡 悦 宣

高校時代というものは、先生方からは勉強だけではなく、人生の先輩として多くの事を学ぶ時であり、また友人と語り合い、部活動に熱中し、将来の夢と希望を抱き、そして自分自身を見つめて進むべき道を模索する大切な時期でもあります。

また、自己を確立し、自主自律を学び、成長期の大切な「良き子離れ」「良き親離れ」の時でもあります。

それ故に、社会人として巣立つ前の我が子に親として、一人の人間として生き方、価値観などを伝えなければならぬと思

います。その為には、私達保護者も、子どもたちに正面から向かい合う力が必要ではないかと思





# 平成25年度岡山県高等学校PTA連合会及び安全互助会総会報告

平成25年6月19日(水)  
ピュアリティまきびにおいて開催しました。



【総会の様子】

### 【講演】

『高校生のうちに身につけておきたいネットとスマホのこと』  
「リスク&メリット」と「見守る側ができること」を考えよう！  
ネット教育アナリスト  
安心ネットづくり促進協議会

### 「普及啓発広報委員会」

副委員長

尾花 紀子 氏

高校生の半数以上が所有するスマートフォン。実際にはどのような使い方をしている、どのような危険があるのかを具体例を挙げながらわかりやすく解説をしていただきました。



きました。

また、総会閉会后、研修会(講演)を実施しました。

東日本大震災の時には、ネット回線を使い、高校生も多くは、身を守り、命を守る道具としてスマホを上手に活用したそうです。今の子どもたちはアナログ時代に生まれ育った親世代にはない感覚、発想で、変化

の激しいデジタル社会へ適応してきます。スマホは、使い方によっては危険なものです。ウイルス対策や、フィルタリングなど安全な利用環境を整え、自分で理解して対応できる高校生になれる様に、見守って行かなければならないと思いました。

### 功労者表彰受賞者

#### 表彰状受賞者(13名)

敬称略

- 中村有作 岡山操山
- 山崎達男 岡山芳泉
- 山本正岡 山東商業
- 中村美保 岡山商科大学附属
- 稲荷作 邑久
- 上西正幸 玉島商業
- 守屋明美 岡山商業
- 新田日出子 鴨方
- 坂本和弘 高梁城南
- 百本敏昭 備前南
- 定平弘一郎 真備南
- 片岡伸吾 岡山県美作
- 間部由美 岡山県美作

#### 感謝状受賞者(9名)

- 高畑聡子 岡山操山
- 佐藤一美 岡山大安寺
- 淵田弓子 岡山芳泉
- 青木達也 岡山一宮
- 樋口早苗 岡山工業
- 双田洋三 東岡山工業

- 三谷勝彦 岡山東商業
- 藤井英俊 岡山城南
- 長谷川誠 岡山城南
- 山根美樹 岡山東
- 人見孝郎 岡山理科大学附属
- 鶴井睦子 岡山理科大学附属
- 庄真理子 岡山理科大学附属
- 田中千夏子 岡山陽女子
- 若林昭吾 就
- 秋山真里 就
- 赤井小百合 就
- 大森美奈子 就
- 藤原美香 就
- 佐藤晃明 誠学院
- 川上雅恵 明誠学院
- 三宅みどり 明誠学院
- 堀田澤一美 創志学院
- 目木敏彦 岡谷
- 倉崎猛夫 閑谷
- 國塩淳 瀬戸
- 杉本洋子 瀬戸
- 重松将夫 瀬戸
- 福本一成 岡山御津
- 荒木雷太 岡山芸芸館
- 矢原育美 岡山芸芸館
- 宇根美季 岡山芸芸館
- 石井栄一 岡山白陵
- 佐野義彦 岡山白陵
- 高木達夫 岡山白陵
- 内尾玲 岡山白陵
- 藤井昭 岡山白陵
- 藤村耕司 岡山白陵
- 高橋華恵 岡山白陵
- 松下一郎 岡山白陵
- 渡邊弥生 岡山白陵
- 秀平恵子 岡山白陵

- 岡田智寛 岡山白陵
- 石井くるみ 岡山白陵
- 河原基人 岡山白陵
- 板野晴美 岡山白陵
- 春日敏子 岡山白陵
- 小野聡子 岡山白陵
- 丸山茂倉 岡山白陵
- 野田久美子 岡山白陵
- 日笠雅子 岡山白陵
- 天満実由 岡山白陵
- 石原文子 岡山白陵
- 秋山美登里 岡山白陵
- 久世千鶴子 岡山白陵
- 本行進倉 岡山白陵
- 谷澤文枝 岡山白陵
- 中島文男 岡山白陵
- 清水美佐代 岡山白陵
- 穴戸澄男 岡山白陵
- 小林淳子 岡山白陵
- 加藤浩之 岡山白陵
- 有和恵子 岡山白陵
- 松浦和之 岡山白陵
- 藤井裕三 岡山白陵
- 義根洋子 岡山白陵
- 岡本正志 岡山白陵
- 大島健悟 岡山白陵
- 岡本健悟 岡山白陵
- 房野浩子 岡山白陵
- 楠木長武 岡山白陵
- 織田誠二 岡山白陵
- 日名幸子 岡山白陵
- 山田尚生 岡山白陵
- 吉岡明美 岡山白陵
- 平井恵美子 岡山白陵
- 四木和之 岡山白陵
- 進藤真理子 岡山白陵
- 八木橋康広 岡山白陵
- 藤井裕子 岡山白陵
- 丸橋裕子 岡山白陵
- 川上治恵 岡山白陵
- 阿部学新 岡山白陵

### 平成25年度 役員

- 会長 武田 浩一 (岡山朝日P)
- 副会長 富吉 秀昭 (私後援会)
- 監事 青山 浩司 (西大寺P)
- 渡邊 暢一 (倉敷青陵P)
- 杉本 尚平 (岡山朝日T)
- 松井 克爾 (倉敷鷺羽P)
- 稲田 欽也 (矢掛P)
- 梶並 正和 (総社南P)
- 岡悦 宣 (津山P)



- 小藤一成 新見
- 田邊純孝 新見
- 洪谷直美 新見
- 篠弘徳 備前
- 中村順子 備前
- 湯浅光晴 岡山共生
- 田原裕之 岡山共生
- 水杉和弥 津東
- 吉岡陽子 津東
- 安田厚介 真庭
- 安藤功林 野庭
- 横林義和 野庭
- 北村雅和 野庭
- 河本義登 岡山美作
- 岡部順 岡山美作

# 第55回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会(鳥根大会)報告

平成25年7月12日(金)鳥根県民会館において「緑を結び絆を育む」PTAから抜がる輪だんだん」を大会テーマに開催され、岡山県から180名が参加しました。



開会行事の後、講師に島根大学教育学部初等教育開発講座講師 香川奈緒美氏を迎え、「家庭内のコミュニケーションを考える」(聴く力の種)と題した講演が行われました。昼食後、高校生による発表があり、出雲農林高校の迫力ある和太鼓、大社高校ダンス同好会による会場のみんなを笑顔にする楽しいダンス、浜田商業高等学校郷土芸能部による石見神楽の舞は、出雲神話大蛇」をダイナミックな動きで演じ、会場を魅了させました。

その後、研究協議がおこなわれ、徳島県立城南高等学校PTAから、「普通科教育におけるキャリア教育」を発表テーマに、キャリア教育を発展させて行く



ための行事「進路座談会」の様子の発表、愛媛県立松山工業高等学校PTAからは、地域産業とPTAと地域産業の担い手育成事業を通してをテーマに学校と地域産業界の連絡を密にして、地域企業で活躍できる人材の育成を図る様子の発表、島根県立隠岐島前高等学校PTAからは、地域おこしとPTAと高校魅力化が結ぶ人との縁をテーマに過疎化が進み、高校も統廃合の危機に陥ったことから、島の高校魅力化プロジェクトを立ち上げ、鳥留で学校を活性化させるなど、地域と行政とPTAが一つになって取組み、成果をあげている様子の発表がありました。

最後に、来年の開催予定の高知県から「みんなあ来てよ」待ちゆきねえ」との言葉で大会は閉幕しました。

# 第63回全国高等学校PTA連合会大会(山口大会)報告



【多々良大会実行委員長 開会挨拶】

平成25年8月21日(水)22日(木)本年度は会場の都合により、変則的な日程で山口県スポーツ文化センターを主会場に分散会場での開催となり、全国から約一万人(岡山県から150名)が参加しました。

基調講演では、「内閣総理大臣」安部晋三氏によるビデオメッセージがあり、続いて「文部科学大臣」下村博文氏による講演が行われました。安部総理大臣

は、教育再生は最重要課題であり、世界最高水準の学力・しっかりとした規範意識を持つことが教育再生の柱となっていく。そのために家庭と学校がしっかりと連携することが重要であり、社会総がかりで、子どもたちを教育することが望まれる。そういった意味でPTAの果たす役割はきわめて大切である。と述べられました。



下村文部科学大臣は、日本の現状から見た教育再生の方向を明らかにし、各論として、教育再生を支援するための具体的な施策について講演をされました。アトラクションでは、明倫小学校児童による吉田松陰先生の言葉の朗唱はすばらしいものでした。また、防府商工高等学校生徒と会場が一緒になって行った「お笑い体操」は、早朝からの研修の疲れを癒してくれました。

表彰式 開会式終了後、文部科学大臣表彰・全国会長表彰(個人・団体、役員等)が行われ、岡山県からの受賞者は次のとおりです。

- 【文部科学大臣表彰】
  - \*優良PTA
    - 岡山理科大学附属高等学校 PTA活動振興功労者 網島 勝 氏
    - (創志学園高等学校 元PTA会長) 三木 亮治 氏
    - (県立岡山操山高等学校 元PTA会長) 中村 有作 氏
    - (県立岡山操山高等学校 元PTA会長) 橋本 直人 氏
    - (岡山県共生高等学校 元PTA会長)
- 【全国会長表彰】
  - \*個人
    - 稲荷 作 氏 (県立邑久高等学校 前PTA会長)
    - 山本 正 氏 (県立岡山東商業高等学校 前PTA会長)
  - \*団体
    - 県立倉敷鷺羽高等学校PTA
    - 吉備高原学園高等学校PTA
  - \*役員
    - 福武 孝之 氏 (県高等学校PTA連合前会長)

# 全国単位PTA広報紙展示



【武田会長 会報閲覧】

\*県立邑久高等学校 「邑久高PTAだより」  
\*県立高梁城南高等学校 「松籟」

# 「東日本大震災」義援金活動の継続

東日本大震災が発生してから2年以上立ちましたが、復旧・復興は長期に渡ると考えられます。全国高等学校PTA連合会では義援金を募る活動を継続することとなりました。当連合会におきましても支援を継続いたしますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。